

ギターCD レター from yakateru(第 48 号)

「ギタリストのための 70 選」「ギタリストのための 50 選」「ギタリストのための 30 選」。これら合わせて、150 曲になる。レパートリー 150 曲というと、結構、やるなあという感じだが、今風の選曲から言うと、後、追加で、100 曲は必要だろう。ということで、次に出るのは、「ギタリストのための 100 選」だ！

カウントダウンが始まったぞ！！ 今回で 48 号、明日が 49 号、で・

昔のギターを弾く人のハイブル(2)

「ギタリストのための 70 選」の次は、当然「ギタリストの 50 選：近藤敏明編」である。これは 900 円で、1 曲 18 円である、ということとは置いて、一時期は、70 選より、この 50 選を気に入っていた。それというのも、50 選はバロック系の曲がとても充実しているのだ。ロジー、ヴィゼー、ロンカルリ、ナルバエス、スカララッティ。この 5 人の作曲家の曲で 25 曲ある。半分がバロック時代の彼らの作品で埋め尽くされている。これがお気に入りの最大の原因だ。

さて、70 選の紹介のように第 1 曲目から解説すると、・・・これが 50 選の場合はいけない。ソル、アグアド、ジュリアーニから始まる 50 選は、練習曲集、あるいは教則本のようにお堅いイメージから始まり、これで、魅力が半減している。70 選のような温かいメッセージがないのだ。さらに 30 選の場合はもっとひどく、全体が練習曲集になっている（ので、30 選は、このレターでは取り上げない）。

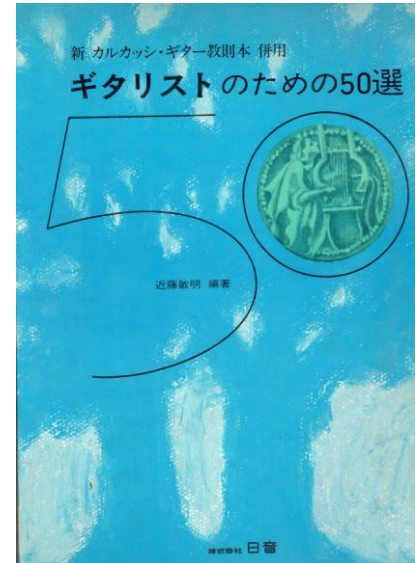
私なら、というか、70 選の選曲方針を貫くならば、第 1 曲目は、絶対にヘンツェの「ノクターン」だろう、ここは！！ そして、大胆に次は、ロジーの「パルティータ短調」を置く。甘いささやきの後、突然舞い降りる、バロックの響き。このロジーのパルティータは、ヴァイスの「組曲ニ短調」とともに、比較的簡単に弾けるバロック組曲の二大名曲と思っている。特に、このロジーは、この単純な旋律と和音構成で、よくぞこ

こまでひとつの物語を作ることができた稀有の曲ではなからうか。

そのあと、ヴィゼーの組曲が来て、超！格好良いロンカルリの「パッサカリア」、そして、ダウランドから、ナルバエス、スカララッティと来ると、絶対、この順番で弾いてやるぞうという気にさせてくれる（と思う）。まあ、確かに、こんな調子で展開してくると、ソルやアグアドの入ってくる余地はなくなるのかもしれない。だから、最初に置いておいた！？いやあそれぐらいなら、練習曲集は 50 選からはずし、30 選に組み込んで練習曲的曲集 30 選にすればいい。これが BEST だと思う、ふん（鼻息）。

ここで、ふと、気がついた。70 選、50 選、そして、30 選には、まったく南米の作曲家の曲がないということに。新しい作曲家であれば著作権の問題かとも思うが、バリウスの曲も 1 曲もない。南米の作曲家の曲は、クラシックギター曲でなく、ラテンやボサノバとみなされてしまい、選からもれているのか。そういうことなのか？

そういえば、明日紹介するつむりの「セゴビア・アルバム」にも、バリウスの作品はない。ビラ・ロボスも独奏曲はなく、コンチェルトが入っているだけだ。比較的新しいラウロが入ってこないのはわかるが、バリウスもないのだ。クラシックギター曲とは、その定義はなんなのか。ヨーロッパ音楽に限定しているのだろうか。しかし、大学現役ギター部員が弾くのは、アメリカの作曲家ヨークのような

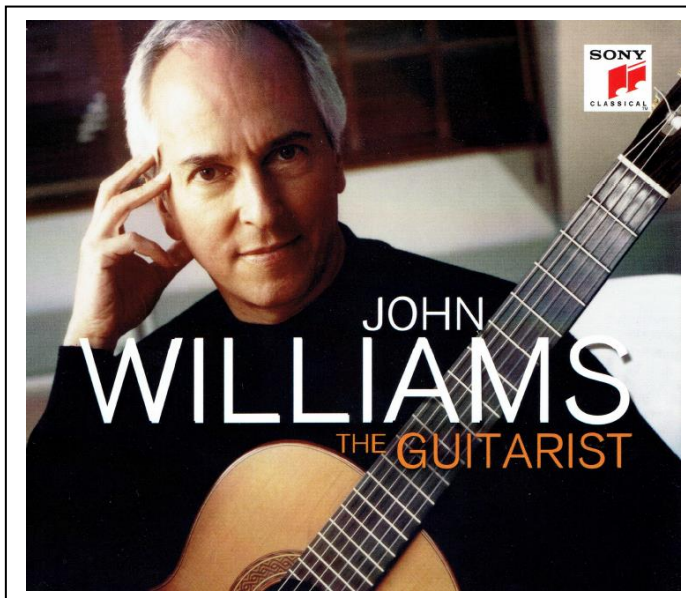


格好良い曲ばかりなのだし、多くのギタリストがラテン系の音楽、ピアソラなんかガンガンと弾いている。紹介していない残りのクラシックギターCDの多くは、南米の音楽がかなりを占める。いま、70 選を組むと、もしかしたら半数近くが、南米系の曲になるのかも。それに、ヨークやブローウェル（キューバ）の北米系作曲家が加わり、武満徹らの日本勢も加わり・・・。

ここ、30 年で、クラシックギター曲の傾向が、全く変わったことがわかる。確かに、私から見ても、ソルもタレガも、礼儀正しい、マジメで四角四面な奴に見える

そのうち、ソルやタレガは、今の演歌みたいに、いい年のおっさんにならなければその良さがわからない、なんてことになるのかも。

さて、今日のお勧め CD は、ジョン・ウィリアムスの集大成的な 3 枚組の CD だが、改めて録音された曲を見ると、1 枚目のギター代表作シリーズは、70 選、50 選からも数曲入っているが、2 枚目の「ロマンチック」には、「禁じられた遊び」以外は、入っていない。ソルなんて、3 枚の CD に 1 曲もない（続）



JOHN WILLIAMS THE GUITARIST

THE GREATEST GUITAR CLASSICS ON 3 CDS

CD 1

THE SOLOIST

- 1 Bach: Prelude (Suite for Lute No. 4)
- 2 Albéniz: Asturias
- 3 Barrios Mangoré: La catedral
- 4 Bach: Chaconne (Partita No. 2)
- 5 Weiss: Passacaglia
- 6 Sanz: Canarias
- 7 Turina: Soleares
- 8 Tárrega: Recuerdos de la Alhambra
- 9 Albéniz: Sevilla
- 10 Barrios Mangoré: Preludio en do menor
- 11 Barrios Mangoré: Una limosna por el amor de Dios (La última canción)
- 12 Granados: La Maja de Goya
- 13 Lauro: Natalia
- 14 Sagreras: El Colibrí
- 15 Rodrigo: Fandango
- 16 Brouwer: La Huida de los Amantes por el Valle de los Ecos

CD 2

THE ROMANTIC

- 1 Myers: Cavatina
- 2 Anonymous: Romance
- 3 Fauré: Pavane
- 4 Satie: Gymnopédie No. 3
- 5 Sojo: Cántico
- 6 Traditional: El condor pasa
- 7 Rota: The Godfather (Love Theme)
- 8 Williams: Schindler's List
- 9 Morricone: The Mission (Gabriel's Oboe, Mission Theme, On Earth as it is in Heaven)
- 10 Joplin: The Entertainer
- 11 Rahasimanana: Mitopa
- 12 Fernández: El Diablo Suelto
- 13 Lauro: El Marabino
- 14 Lauro: Nelly
- 15 Gutiérrez: Alma Llanera
- 16 Sontonga: Nkosi Sikelel' iAfrika

CD 3

JOHN WILLIAMS AND FRIENDS

- 1 Vivaldi: Allegro giusto (Concerto for Guitar, R. 93a)
- 2 Johnson: Galliard
- 3 Schubert: Adagio (Arpeggione Sonata)
- 4 Giuliani: Andantino (Concerto for Guitar No. 1 in A major)
- 5 Debussy: Clair de Lune
- 6 Fauré: Le jardin de Dolly
- 7 Albéniz: Córdoba
- 8 Elgar: Salut d'amour
- 9 Rodrigo: Adagio (Concierto de Aranjuez)
- 10 Debussy: Rêverie
- 11 Rodrigo: Danza de las hachas (Fantasía para un gentilhomme)
- 12 Falla: Dance from La vida breve
- 13 Granados: Zambra